

令和6年度 芝山中学校学校評価集計結果

全校

回答人数 生徒144人(93%)、保護者130人(84%)、教職員18人(100%)

赤字の肯定率は、肯定率80%を下回ったもの 4: と思う、3: だいたいと思う、2: あまりそう思わない、1: 全く思わない

番	評価項目	対象	4	3	2	1	肯定	否定	R5肯	R4肯	考 察
1	学校は、教育目標や方針を踏まえた教育実践をしている。	生徒	59%	36%	5%	1%	95%	5%	97%	96%	教育方針等を家庭にきちんと周知するため、今年度は、学校要覧を全家庭に配付した。今後も引き続き、家庭と一層の連携を図ることに努める。
		保護者	27%	57%	13%	3%	84%	16%	90%	82%	
		教職員	71%	29%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
2	学校は、家庭や地域と連携協力した活動を行っている。	生徒	50%	38%	11%	0%	89%	11%	92%	96%	生徒の健やかな成長に資するべく、学校と家庭、地域がより一層緊密な連携を図れるよう、学校全体で地域連携を進めていく姿を示すとともに、家庭に対して積極的な発信をする。
		保護者	27%	55%	15%	3%	82%	18%	82%	77%	
		教職員	67%	33%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
3	学校は、生徒に命の大切さや規範意識を身に付けさせている。	生徒	68%	28%	5%	0%	95%	5%	97%	98%	全教育活動を通じて、命の大切さや規範意識を身に付ける等の心の醸成に努め、保護者、地域から生徒の成長した姿を見ていただけるよう努める。
		保護者	31%	52%	15%	2%	83%	17%	85%	76%	
		教職員	90%	10%	0%	0%	100%	0%	94%	100%	
4	学校行事では、子供が有意義で充実した学びをしている。	生徒	63%	29%	7%	2%	92%	8%	97%	95%	生徒の主體的な取組となるよう、より一層内容の充実を図っていく。体育祭、合唱祭等、大勢の保護者様の参観・協力に感謝したい。
		保護者	37%	52%	9%	3%	88%	12%	87%	94%	
		教職員	75%	25%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
5	学校の施設・設備は、学習環境として整備されている。	生徒	55%	37%	8%	1%	92%	8%	92%	89%	水道水に関しては、各御家庭に大変御迷惑をかけてしまっている。今後も町教育委員会と連携しながら、安全・安心な学習環境を整備していく。
		保護者	35%	49%	14%	2%	84%	16%	86%	83%	
		教職員	81%	19%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
6	先生は、授業で学習目標や課題をきちんと提示している。	生徒	64%	30%	6%	0%	94%	6%	99%	96%	「確かな学力」のより確実な習得のため、引き続き、全教科で授業改善を図っていく。教師と生徒が学習目標を明確に共有し、「分かる授業」につなげていく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	71%	29%	0%	0%	100%	0%	94%	91%	
7	先生は、授業で考える時間や発表する時間、振り返る時間をつくっている。	生徒	69%	28%	3%	0%	97%	3%	97%	97%	基礎・基本の定着及び個別最適な学びを実現させ、個に応じた課題等を準備することで思考力を向上させたい。また、振り返りに関してはICTを積極的に活用していく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	57%	43%	0%	0%	100%	0%	94%	96%	
8	先生は、生徒が学習内容を確実に理解できるよう分かるように教えている。	生徒	59%	34%	7%	1%	92%	8%	97%	97%	学習内容を確実に理解するため、基礎・基本の定着を重視し、今年度から学力向上タイムの時間を位置づけ実践した。以後も継続し、成果等を分析していく。
		保護者	16%	57%	22%	5%	73%	27%	63%	66%	
		教職員	81%	19%	0%	0%	100%	0%	94%	96%	
9	授業では、分かったと感じることができる。	生徒	61%	30%	8%	1%	91%	9%	93%	95%	「わかる」から「できる」授業を実践し、評価テスト等で成果が現れるよう授業改善に努める。
		保護者	12%	54%	24%	9%	66%	34%	56%	57%	
		教職員	76%	24%	0%	0%	100%	0%	94%	86%	
10	先生は、質問に対して丁寧に答えてくれる。	生徒	68%	29%	4%	0%	96%	4%	95%	93%	微増であるが、教職員にとって励みとなる結果であった。これからも、生徒一人一人を心から大切に、どの場面においても丁寧に対応するよう努める。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	86%	14%	0%	0%	100%	0%	94%	96%	
11	学校は、安心して学習、生活できる雰囲気がある。	生徒	58%	31%	10%	2%	89%	11%	92%	90%	学校生活における安心感は何より大切であるため、生徒の肯定率の減少は特に真摯に受け止めなければならない。自分も他人も大切にすることを重視していく。
		保護者	27%	57%	9%	7%	85%	15%	82%	80%	
		教職員	52%	43%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
12	学校に行くのが楽しい。	生徒	44%	35%	14%	8%	78%	22%	82%	82%	真摯に結果を受け止め、誰一人として取り残さない教育を目指し、生徒全員が「充実感」等を味わうことができるよう、諸活動の充実を図れるよう、指導内容や方法を改善していく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	52%	43%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
13	先生は、悩みや相談について親身に対応してくれる。	生徒	62%	32%	5%	2%	94%	6%	96%	89%	生徒や保護者からの相談は、常に丁寧に対応するとともに、家庭と連携しながら進めていくよう努める。また、教職員に可能な限りゆとりを持たせ、一人一人の生徒と向き合う時間を確保していく必要がある。
		保護者	22%	53%	15%	10%	75%	25%	83%	69%	
		教職員	62%	33%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
14	先生は、生徒の能力や努力を適切・公平に評価している。	生徒	65%	31%	3%	1%	96%	4%	94%	89%	生徒の肯定率が上昇した。肯定的評価100%を目指し、生徒個々の能力や努力を様々な角度から評価していく。また、評価による達成感や充実感も大切にしていく。
		保護者					—	—	—	—	
		教職員	81%	19%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
15	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている。	生徒	71%	23%	4%	2%	94%	6%	95%	94%	「いじめは絶対に許されない」という意識を一人一人の生徒に育み、未然防止を重視するとともに、生徒が発する小さなサインを見逃すことのないよう日頃から丁寧な生徒理解と早期発見に努めていく。
		保護者	24%	56%	13%	7%	80%	20%	88%	75%	
		教職員	81%	14%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
16	先生は、生徒の間違った行動に対しきちんと指導している。	生徒	75%	22%	3%	0%	97%	3%	96%	95%	生徒が自発的・主體的に成長や発達をしていく過程を支えるために、引き続き、日常の生徒指導を基盤とした「積極的な生徒指導」を意識していく。
		保護者	28%	52%	11%	8%	80%	20%	85%	74%	
		教職員	76%	19%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
生徒	毎朝、食事をとって登校している。	生徒	77%	13%	7%	3%	90%	10%	83%	86%	全ての項目において肯定的評価9割を超えている。食育や健康・体力向上について。各御家庭に御協力をいただきながら、積極的に進めていく。
	毎日、歯磨きをしている。	生徒	92%	5%	2%	1%	98%	2%	99%	100%	
	毎日、何らかの運動をしている。	生徒	73%	18%	6%	3%	91%	9%	83%	85%	
保護者	学校は、子供たちの活動の様子を家庭によく伝えている。	保護者	20%	53%	23%	4%	73%	27%	77%	79%	5項目中3項目において、肯定率が80%に届かない結果となった。生徒たちの頑張りや様子をしっかりと伝えられていない取組不足を反省し、生徒の学校生活の様子や長所、更に伸ばしたい資質等を積極的に伝えていくよう改める。
	教職員は、子供たちの教育に熱心に取り組んでいる。	保護者	21%	59%	13%	7%	79%	21%	83%	80%	
	学校は、学習における子供の力や努力を適切に評価している。	保護者	26%	52%	18%	4%	78%	22%	85%	71%	
	教職員の言葉づかいや態度・マナーについて、満足している。	保護者	34%	47%	12%	7%	81%	19%	77%	74%	
	学校は、特別支援教育の充実に向けている。	保護者	35%	46%	15%	4%	81%	19%	84%		
教職員	保護者や地域の方へ誠実に対応している。	教職員	90%	10%	0%	0%	100%	0%	100%	100%	
	校内外の研修に意欲的に参加し、進んで自己研鑽に動んでいる。	教職員	33%	67%	0%	0%	100%	0%	94%	100%	
	学校は、生徒会活動を通して、生徒に自立や自治の力を育もうとしている。	教職員	90%	5%	5%	0%	95%	5%	100%	100%	
	勤務時間を意識して勤務できている。	保護者	48%	43%	5%	5%	90%	10%	82%		
	特別支援教育の考え方や生徒への有効な支援方法を教職員で共有したり、研修したりする機会が設けられている。	教職員	62%	33%	5%	0%	95%	5%	94%		